

みぶりん だより

2019年4月号 Vol.56

壬生町民活動支援センター「みぶりん」

■開館時間

火～金 10時～18時

土・日・祝 10時～17時

(火～金は予約をして頂ければ21時まで利用可能です)

■休館日

月曜日・年末・年始

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1(保健福祉センター内) HP URL

電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732

Mail: miburin@bz04.plala.or.jp

<http://www.town-mibu.com/miburin/>

★メールアドレスを覚えて頂ければ、毎月

みぶりんだより(カラー版 PDF)をメールでお送りします。



「壬力UPボランティア活動支援事業補助金」募集案内

～「壬力UPボランティア活動支援事業」で皆様の活動を支援します～

平成29年度からスタートしました「壬力UPボランティア活動支援事業」を、平成31年度も実施します。皆さんが実施する事業の支援をすることで、より効果的なまちづくりの推進につなげると共に、各団体の活動の活性化を目指します。詳しい応募要件は下記のとおりです。

【応募資格】「みぶりん」に登録している団体

ただし、登録していても下記要件に該当する団体等は応募できません。

①自治会や自治会内で組織された団体(育成会、自主防災会等)

②会則や規約を有していない団体

③町から既に補助金等の支援を受けている団体

④会員が5名以下の団体(個人登録の方は応募できません)

【助成額】限度額10万円(一団体・年額)

【該当事業】登録団体が町内において主体的に実施する事業で下記に該当する事業

◇地域課題の発見・解決を目的とする事業

◇町が取り組む施策・事業を協働により取り組むことで、さらに効果を高めることが期待できる事業

◇本町の魅力をPRするとともに、新たな魅力の発見・発掘に関する事業

【募集期間】平成31年4月3日(水)～4月19日(金)

【問合せ先】◆生活環境課まちづくり推進係 ☎0282-81-1888 ◆町民活動支援センターみぶりん ☎0282-21-8731

詳しい資料は
みぶりに置いてあります。
また、みぶりの
ホームページもご覧ください。

みぶりん利用者協議会(仮称)設立総会のご案内

設立総会を下記のとおり開催いたしますので
案内申し上げます。

なお、登録団体等には案内をお送りいたしますので、4月30日(火)までに出席等のご返事を宜しく
お願い致します。

日時▶5月11日(土) 午前10時から正午まで(予定)

場所▶壬生町保健福祉センター 会議室

議案▶議案第1号 規約の制定について

議案第2号 役員の選任について

議案第3号 2019年度事業計画(案)について

議案第4号 2019年度収支予算(案)について

記念コンサート▼

第1部 ギターアンサンブルコパン

第2部 音楽グループ「にっこり」

運動を習慣化!! 歩く速さで 30分間、走れるようになろう!!

開催目的▶町民一人一人が、自分の健康状態を把握して、「自分の健康は自分で守る」ことを実践できるように町民の健康の維持・促進を図ることを目的とする。

開催場所▶嘉陽が丘ふれあい広場および嘉陽が丘里山遊歩道

日時▶全6回 全て水曜日 10:30～12:00

5/1・5/8・5/15・5/22・5/29・6/5

対象者▶日頃運動不足の方、運動を習慣にしたい方、
ジョギング未経験の方/ルールとマナーを守れる方/
前向きに取り組める方/原則全6回参加できる方

目標▶運動を習慣化すること。

持ち物▶運動のできる服装、外履き(晴天時)、体育館履き(雨天時)、飲み物、タオル

参加料▶全6回分 2,000円(第1回時に徴収)

申込先▶みぶりん ☎0282-21-8731 FAX0282-21-8732

お名前(フリガナ)、住所、電話番号をお知らせください。

申込期間▶4/16(火)～4/30(火)

講師▶西堂路 淳(にしどうじ あつし)

一般社団法人ポジティブスポーツ振興協会・

スポーツコーディネーター・壬生町地域おこし協力隊

後援▶壬生町・壬生町教育委員会(申請中)

♡大人の七夕コン♡

磐裂根裂神社でバーベキュー♡素敵な出会い♡

♡パートナーを見つけちゃいましょう♡

日時▶7月7日(日) 9:30～14:30 ※雨天決行

開催場所▶磐裂根裂神社(栃木県下都賀郡壬生町安塚1772)

申込数▶男女各15名 概ね35～50歳位まで(独身者)

参加費▶男性4,000円 女性1,000円 ※応募多数の場合は抽選

※昼食・飲料等(BBQ)を含みます(当日徴収)

募集期間▶5/1(水)～6/20(木)まで

応募方法▶氏名(フリガナ)・年齢・性別・

職業・携帯電話・〒住所・自己PRを、

問合せ▶メール happychance.78@gmail.com

又は 問合せ先 080-8011-0633(ショートメール)

主催▶ハッピーチャンス(代表 小川) 共催▶磐裂根裂神社

後援▶壬生ロータリークラブ・壬生町 協賛▶南三晶工業・きのこの北研

ハッピーチャンス
QRコード

大名鳥居家 ゆかりの 「赤御堂茶」を摘もう!!

参加費無料

ご存知でしたか?明治時代に上稲葉の赤御堂でお茶が作られていたことを!!

日時▶5月4日(土) 9:00～11:00

会場▶川俣邸前茶畑 募集定員▶先着30人(申込受付順)

内容▶茶摘み、赤御堂の話、きのこ汁(軽装で)

駐車場▶嘉陽が丘ふれあい広場(壬生町上稲葉1056-8)

申込先▶みぶりん ☎0282-21-8731 FAX0282-21-8732

申込方法▶電話、FAX、または来所にて申込受付中です。

問合せ▶鈴木良男まで ☎090-4126-8175

協力団体▶壬生町歴史民俗資料館・嘉陽が丘里山の会・栃木研・栃ノライズ・ショートアイ・みぶの杜

主催▶栃木県茶手揉み保存会

②第10回みぶりん活動発表会開催

③準備をしない炊出し

(YKC会)

オオムラサキの幼虫を探そう!(オオムラサキの里を作る会)

施設にて創作エイサー(ていだ太鼓・宇大生のサークル)

④みぶの日ウエルカムスポットを設置(みぶまち地域活性化21・至宝秀峰会)

さくら市が視察研修のため来所

学童保育の看板完成(ベリーキッズクラブ)

目次

第10回 みぶりん活動発表会

みぶりん5周年を祝い太鼓が響き渡る

みぶりん開設5周年記念第10回活動発表会が2月24日、保健福祉センターで開催されました。伝統芸能や中高生の地域活動の発表に、会場は約120名の参加者で賑わいました。

町民活動支援センターみぶりんは、町民活動団体等の自立・成長などを支援する協働のまちづくり拠点施設として平成26年度に開設されました。現在では約300の団体・個人が登録しボランティア活動等に活躍されています。

10回目の活動発表会は、「中高校生の地域活動と学校・地域の連携・協働」をテーマに行いました。会場では、藤井かんぴょう音頭保存会や安塚五段囃子による実演、また教育委員会生涯学習課による「地域の子どもたちと大人の連携・協働活動」、シルバー大学校同窓会壬生支部による「放課後こども教室」、壬生町立図書館による活動発表が行われました。参加者は中高生の地域活動や地域の大人の方の放課後子ども教室への支援に感心を寄せていました。さらに、郷土芸能ではお囃子の迫力に感動させられ、次代を担う子どもたちの演奏に拍手を送っていました。

また、同時にパネル展示も行われ、川の日を国民の祝日にしよう会、壬生町傾聴ボランティアグループ「きかせて」、壬彫会、シルバー大学校同窓会壬生支部、壬生サイクリングクラブ、壬生ハイキングクラブ、壬生町セミナースタッフ「みち」の皆様は活動内容を紹介して頂きました。パネルをご覧になった方々は活動内容を見て興味を持たれているようでした。

さらに、蕎麦の会「みかど」によるそばコーナーも設けられ、予約数が早々と予定数に達しそばの人気の高いことに驚きました。参加者は活動発表会が終わっても、交流会や食事をしながら談笑し5周年を満喫したようでした。

(玉田)



藤井かんぴょう音頭保存会



教育委員会 生涯学習課



壬生町立図書館



シルバー大学校同窓会壬生支部



安塚五段囃子保存会



展示コーナー



発表会の様子



交流会の様子



蕎麦の会「みかど」による
おそばも振る舞われました

活動報告

準備をしない炊出し

停電・交通機関マヒを想定した
「炊出し訓練」

YKC会

2月24日、YKC会（北小林自治会自主防災会）では、防災訓練として停電・交通機関マヒを想定した「炊出し訓練」を参加者24名で行いました。

これまでも、秋に地元のお祭りやタイアップして炊出し訓練を行いましたが、今回は、停電などを想定した訓練を行いました。

10時に「災害発生」の想定で、会員は徒歩で自宅から食材を持ち寄り防災倉庫に集合しました。その後、炊出しのために不足している「水」は発電機でポンプを動かし確保し、「火」は薪を燃料にしました。また、手作りの「かまど」を設置し炊出し料理作りが始まりました。今回の炊出し料理は、汁物、焼肉、ごはんの豪勢なもので、みんなで美味しく頂きました。

今回は「本当の災害が来たら」と想像しながらの訓練でした。実際の災害時にはもっと厳しい状況になりますので、さらに防災会が一丸となって衣食住を補える活動が必要です。引き続き、訓練や防災知識の習得が必要であると感じました。

(副会長 田村好昭様 記)



オオムラサキの幼虫を探そう！オオムラサキの里を作る会

2月21日、「オオムラサキの里を作る会（大島菊夫会長）」が、「獨協の森」において、ステラ獨協前保育園の園児80人が参加して「オオムラサキの幼虫を探そう！」と題し、自然を体感する観察会を開催しました。

園児たちは獨協の職員の皆さまと一緒に探し、「ぼくが一番にみつけたよ！」「怖かったけど楽しいな！」「わたしもいっぱい見つけた～！」などと楽しみながら、オオムラサキの幼虫250頭を探しあて、自然体験を楽しみました。

(取材担当 小田垣)



施設にて創作エイサー

ていーだ太鼓（宇大生のサークル）

3月16日、「ショートステイみぶの杜」のお誕生会で「ていーだ太鼓」の方に創作エイサーを披露して頂きました。

「ていーだ太鼓」は宇都宮大学の34名のサークルで、沖縄の伝統芸能であるエイサーを、主に学祭や留学生交流会など各種イベントで踊っています。

当日は6名の方が来られ、約20名の利用者の方の前で披露して頂きましたが、利用者の方はあまり見られない創作エイサーに大喜び。歓声が上がっていました。

(取材担当 鈴木)



新規登録団体・個人(2/21～3/20)

みぶりんでは、団体・個人の登録を随時受け付けています。

登録No.	名称	活動内容
団体268	至宝町婦人会	献血活動・至宝八坂祭協力・防災訓練協力・地域安全活動協力・青少年懇談会事業・ふるさとまつり協力参加。
団体269	ハッピーチャンス	婚活を考えている独身男女に出会いの場「イベント・交流会」等の企画及び実施。
団体270	壬生町盆栽クラブ	さつき展・チャリティー・盆栽の研修旅行・盆栽展
個人50	葭葉ミチ子	習字・生花・お茶会(千家古流茶花道教授)・フラワーアレンジメント



みぶの日 ウェルカムスポットを設置

みぶまち地域活性化 21
至宝秀峰会

3月3日、みぶの日に合わせて国谷駅を利用する方々へのおもてなしスポット、「ウェルカムスポット」を「みぶまち地域活性化21（大橋良平会長）」と「至宝秀峰会（益子俊男会長）」が国谷駅前通りに設置しました。

オープニングセレモニーでは、「音楽グループ・にっこり（鈴木隆正代表）」による町民の歌で始まり春にちなんだ歌6曲が披露されました。多くの参加者がスポットの開設を祝い、家族連れなどの来館者になめこ汁やイモフライが無料で提供されました。

オープニングセレモニーでは、小菅一弥壬生町長も新たな賑わいスポットができたことに喜ばれていました。
(両会員 玉田英二記)



さくら市が視察研修のため来所

2月19日、さくら市より3人の方がみぶりに視察研修に来られました。

さくら市は2005年に氏家町と喜連川町が合併して誕生した市で、市民活動センターを2020年度に開設するとのことです。

みぶりの概要説明、施設案内のあと、5日後に開催される活動発表会の予行演習を見て頂きました。

そのあと介護施設で、みぶりん登録の方がボランティアで定期的に教えてくださっている「習字クラブ」を見学して頂きました。

「支援の現場も視察でき有意義でした」との感想を頂きました。今後も連携していきたいと思ひます。

(担当 鈴木)



ベリーキッズクラブ 看板完成

3月13日、壬生小学校の学童保育「ベリーキッズクラブ」の看板が完成し、新しい建屋に取り付けました。

落合英行様にボランティアで製作して頂いたものです。

(撮影 鈴木)



☆「みぶりんだより」は下記のところに置いています☆

みぶりん・保健福祉センター・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・歴史民俗資料館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・嘉陽が丘ふれあい広場・ふれあい交流館・シルバー人材センター・各小中学校・壬生高校

【編集後記】■平成最後のみぶりんだよりをお届けいたします。皆さんは平成の時代にどんな印象をお持ちでしょうか？私は全国各地で大規模な災害がとっても多かった印象があります。その反面、市民活動団体等のボランティア活動が活発になり広く協働の精神が築かれました。皆さん！新元号の時代になっても手を取り合い活気のある壬生町を創りましょう！（玉田）■毎週、休みの度にラーメン屋に行きますが、ラーメンの味も店の雰囲気でも微妙に変わります。みぶりんも、ラーメンが美味しくなるような雰囲気になりたいと思います。（鈴木）■春は新生活スタートの季節ですね。新しい生活を始める学生や社会人の方、応援しています！（小田垣）■今までずっと古いノートパソコンを自宅で使っていたのですが、新しいパソコンを買いました！画面も大きくて快適なので楽しいですね！（坂本）